

2021年6月7日

各 位

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

昭和電工マテリアルズ及びその子会社が営むプリント配線板事業の譲受について

このたび、ポラリス・キャピタル・グループ株式会社(以下、「ポラリス」)が運営するポラリス第五号投資事業有限責任組合等は、昭和電工マテリアルズ株式会社(以下、「昭和電工マテリアルズ」)及びその子会社が営むプリント配線板事業(以下、「対象事業」)を承継する為に新たに設立する会社の発行済株式の100%を取得することについて、昭和電工マテリアルズと合意し契約を締結致しました。

対象事業は、約50年にわたりプリント配線板を国内外の市場に提供してきた中で培った優れた研究開発能力と技術力を背景として、圧倒的な市場シェアを有する超高密度MWB(マルチワイヤー配線板)(用途:ハイエンドDRAM検査用プローブカード)や高精度モジュール基板(用途:5Gスマートフォン用高周波モジュール他)、高速信号対応MLB(多層プリント配線板)(用途:データセンター用400Gbpsスイッチ他)、アルミ張り合わせ基板(用途:自動車LEDライト用他)といった独自の強みを持った製品群を有しております。また、高い歩留まりの達成・ハイエンド領域で重要となる納品後の低不良率を通じて、顧客からの信頼を獲得し、様々な分野における代表的な企業との強固な関係性を構築しています。加えて、日本及びシンガポールに合計5つの生産拠点があり、各生産拠点はそれぞれの市場における強固な顧客基盤、優れた技術的競争力をベースに、プリント配線板業界において有力企業の一角を占めています。

今後ITインフラ向けのプリント配線板市場は、IoTや5G化により拡大が見込まれることや、超高密度MWBに対する既存顧客からの高い信頼を起点としたクロスセルや設計・営業機能の強化によるMLBの拡販可能性がある他、米中貿易摩擦の不透明性を回避できるシンガポールの優位性を活かした更なる海外展開、「Made in Japan」の強みを生かした国内市場でのプレゼンス強化等、更なる成長ポテンシャルを有しております。

ポラリスはこれまでに手掛けた半導体・5G関連企業案件と多数の大企業カーブアウト案件を通じて培った知見と経験を武器に、経営管理機能の強化、組織・人事政策の導入といったコーポレート機能の補完やオペレーション改善支援、ひいては更なる成長を目的とした戦略策定・実行を支援することで、対象事業の強み・特徴の益々の発展を推進します。また、非連続的な成長の実現も視野に置き、技術面のみならず信頼性や実績などの顧客との関係性が重要となるハイエンド

領域においては、M&A・アライアンス戦略についても検討・推進して参ります。

ポラリスとしては対象事業の独立後の事業運営体制の更なる強化に資する常勤役職員の斡旋や複数の社外役員を派遣する他、事業面や財務面で様々なサポートを行うことで、役職員と一丸となって事業基盤を拡充・強化し、将来の株式上場を目指して対象事業の価値最大化を図って参ります。

本取引は、会社分割手続き、関係当局の承認等を前提として、2021年9月1日に完了する見込みです。

<本件に関するお問い合わせ先>

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

〒100-6738 東京都千代田区丸の内 1-9-1 グラントウキョウノースタワー38階

プリンシパル 石田 卓司

TEL 03-5223-6780(代表)